

地域での役割

～ショートステイの受入れから考える～

特別養護老人ホーム 梓の里
生活相談員 石川 麻衣
介護支援専門員 富田佐江子

施設の概要

梓の里

静岡県下田市加増野181-1
開設:1989年(平成元年)7月1日
定員:特養80名、短期14名
通所30名
介護度:4.08 (H29.7.1 現在)



高齢社会


- 下田市 総人口 22,477人 (H29.4.1現在)
65歳以上 8,971人
高齢化率 39.91%
- 静岡県 高齢化率 28.2% (H29.4.1現在)
- 下田市 高齢者一人暮らし世帯数 2,461世帯
全世帯数 11,027世帯 (H29.4.1現在)

介護保険の動き



施設の課題

- 受付業務
 - ・緊急的な依頼が減少している
 - ・満床にて対応できない希望者は・・・
- 利用に際して
 - ・一人暮らしの利用者増加
 - ・家族の協力・・・?



事例①

- Aさん(69歳) 要介護4
慢性腎不全、尿毒症による認知機能低下
・主介護者:二男、生活保護世帯
→急激な認知機能低下により、介護困難
ショートステイ利用へ
・施設の日課に沿った介護の提供
・スタッフによる状態観察
→かかりつけ医への受診

事例①

- 施設(スタッフ)の不安
 - ・疾患に関する理解
 - ・家族不在での受診、緊急時



- ケアマネ、福祉事務所との連携
 - ・かかりつけ医との顔つなぎ→直接相談へ
 - ・家族への支援



事例②

- Bさん(77歳) 要介護3
 - 糖尿病、認知症
 - ・主介護者:孫夫妻(共働き)
 - 認知症による徘徊により、独居困難
 - 孫夫妻が県外から移住し同居
 - 就労のためショートステイ利用へ
 - 黄疸による緊急受診

事例②

- 看取り期を想定したケアへ
 - ・ご家族、ケアマネとの担当者会議
 - ・緊急時の確認(フローチャート)
 - ・かかりつけ医との連携
 - ・疾患の理解



評価と課題

- 評価
 - ・施設スタッフと家族、関係者 顔が見える関係
 - スタッフの専門性の発揮
 - 施設の存在意義の再確認
 - ・リスクの共有による不安感の軽減
 - 受け入れ体制の整備
- 課題
 - ・高い医療ニーズへの対応
 - ・利用目的の変化に合わせた視点

